

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
選択区分	ファッションドローイング	1年アパレル技能科	期間区分	前期	時間数			
	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	実技・実習	なし					
科目概要	<p>基礎トレーニングとして 1.初期修練としてデッサンを行うことで、構図バランス・造形力・視覚的感性の向上をはかり造形バランスの感覚やセンスを磨く。 2.ファッションスタイル画画力のアップ、描画テクニックと表現力を身につける。</p>							
習得項目	<p>デッサンやクロッキーから描画力を養い、スタイル画での素材感やキャラクターのスタイル表現をしっかりと身につけ、各種コンクールへ作品入選を目指し、アパレル企業へのデザイナー職を目指す上で必要なや表現テクニックや製品平面図を正確に確実に描けるようにする。</p>							
評価方法	<p>各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「テスト評価」100ポイント、「課題評価」100点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65%未満の場合は留年。)</p>							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	人物クロッキー	自分のクロッキー		4月18日			
	2	基礎デッサン	模写(幾何学模様写真): ・影と光 ・遠近法		4月25日			
	3	ファッションドローイング1	基本ヌード: ・フレーム9頭身 ・フリー手		5月16日			
	4	ファッションドローイング2	ポージング模写(人物写真): ・分析 ・着色スケッチ		5月30日			
	5	ファッションドローイング3	実物服(フロント／バック): ・フラット・ボディー ・モデル		6月6日			
	6	ファッションドローイング4	着装ファッションドローイング (イラストレーション模写)		6月13日			
					6月20日			
					6月27日			
					7月4日			
					7月11日			
講師区分	常勤	講師名	ジョノー	関係実務経験	Marani、L'sEclaireur、 2G2L Fashion Design and Consultingに デザイナーとして勤務			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
服飾技術実習		1年アパレル技能科	期区分	前期	時間数 177.5			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	実技70%・講義30%	なし					
科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用する、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得を身につける。							
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	縫製1	用具の説明(洋裁用具の使用の仕方説明)			4月13日			
	縫製2	ミシン講義			4月14日			
	縫製3	ピンクッション製作			4月13日～4月18日			
	縫製4	基礎縫い(手縫い技法の部分縫い)			4月19日～4月28日			
	縫製5	トートバッグ			4月19日～4月26日			
	縫製6	セミタイトスカート			5月9日～5月19日			
	縫製7	シャツ			5月23日～6月15日			
	縫製8	ワンピース			6月16日～7月27日			
	製図1	採寸			4月18日			
	製図2	基礎・原型			4月20日～5月9日			
	製図3	ダーツの展開			5月11日～5月30日			
	製図4	スカート各種			6月1日～6月8日			
	製図5	ドロップショルダーシャツ			5月19日			
	製図6	ワンピース各種			6月13日～6月20日			
	製図7	部分製図各種			6月22日～6月27日			
講師区分	常勤	講師名	中島	関係実務経験	アパレル企業にてパタンナーとして勤務			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目		履修対象学科クラス	履修期間					
服飾技術実習		1年アパレル技能科	期区分	後期	時間数 282.5			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	実技70%・講義30%	なし					
科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用する、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得を身につける。							
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	縫製1	パンツ			9月1日～10月6日			
	縫製2	ベスト			10月11日～11月24日			
	縫製3	修了製作			11月24日～11月30日			
	製図1	パンツ			9月1日～9月5日			
	製図2	ベスト			9月7日～9月14日			
	製図3	ブラウス各種			9月20日～10月19日			
	製図4	スカート各種			10月24日～11月16日			
	製図5	ジャケット(パネル切り替え)			11月21日～11月30日			
		修了製作			12月1日～3月2日			
講師区分	常勤	講師名	中島	関係実務経験	アパレル企業にてパターンナーとして勤務			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
	ドレーピング	1年アパレル技能科	期区分	通年	時間数 95			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	実技80%・講義20%	なし					
科目概要	寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布(シーチング)を当てて組み、型紙を作る							
習得項目	<ul style="list-style-type: none"> ・布(シーチング)、ピンの扱いを学ぶ。 ・実際のボディーのフォルムに合わせながら、ライン、ダーツを取り形を表現していく。 ・ダーツを理解しながらパターンの仕組みを理解する。 							
評価方法	1課題評価 フォルムに合わせてラインが見られているのか、布目が合っているのか、ピンの打ち方、布の扱い方等。 2授業態度 出席率・集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習の対象。							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	オリエンテーション			4月12日			
	2	ピンクッション			4月19日			
	3	トートバッグ			4月26日			
	4	ドレーピングについて、地の目直し			5月10日			
	5	前・後原型1 サイドダーツ			5月17日～6月7日			
	6	前・後原型2 ショルダーダーツ			6月14日～7月5日			
	7	トレース			7月12日～7月26日			
	8	セミタイトスカート 前身頃			9月6日～9月13日			
	9	" 後ろ身頃			9月13日～9月20日			
	10	" 線入れ・カット			9月27日			
	11	" ベルト・組み立て			10月4日～10月11日			
	12	ヨーク・フレンチスリーブブラウス 前ヨーク			10月18日			
	13	" 前身頃			10月25日			
	14	" 後ろヨーク			11月1日			
	15	" 後ろ身頃			11月8日			
	16	" 線入れ・カット			11月15日			
	17	" 組み立て			11月22日～11月29日			
	18	ショールカラーブラウス 続きヨーク			12月6日			
	19	" 前身頃			12月13日			
	20	" 後ろ身頃			12月20日			
	21	" 線入れ・カット			1月17日			
	22	" 組み立て			1月24日			
	23	" 裄			1月31日～2月28日			
講師区分	常勤	講師名	花澤 由里子	関係実務経験	アパレル企業にてパターンナー及び生産管理のアシスタントとして勤務			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
Mac演習		1年アパレル技能科	期区分	通年	時間数 90			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし					
科目概要	Mac/パソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)・PowerPointの技術取得							
習得項目	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 PowerPointによるプレゼンテーションツール作成基本操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得							
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	授業内容説明・ソフトウェア使い方・設定方法			4月13日～4月20日			
	2	Illustrator(図形描画・文字・カラー設定)			4月28日～5月11日			
	3	Illustrator(クリッピングマスク)			5月18日～5月25日			
	4	Illustrator(トレース)			6月1日～6月8日			
	5	Photoshop(基本ツール説明)			6月15日～6月22日			
	6	IllustratorとPhotoshopを使用したコラージュ作成課題			6月29日～7月20日			
		前期修了ショー			7月27日			
	7	Photoshop(ブラシツール・歪みツール等)			9月7日～9月14日			
	8	Illustratorを使ったテキスタイルデザイン課題			9月21日～10月5日			
	9	IllustratorとPhotoshopを使った企業ロゴ制作課題			10月12日～11月30日			
	10	Illustratorを使ったハンガーイラスト描画課題			12月7日～12月21日			
	11	Illustrator・Photoshopを使ったハンガーイラスト柄付け作業			1月11日～1月25日			
		ファッショショニスト期間			2月1日～3月1日			
講師区分	常勤	講師名 大島	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、 美術学校にて講師経験もあり				

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
カラー		1年アパレル技能科	期区分	前期	時間数			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	オンライン講義100%	なし					
科目概要	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論を学ぶ。							
習得項目	文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。パーソナルカラーの概要を理解し、販売やマイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなどそれぞれの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。							
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	授業オリエンテーション(色彩検定の概要や取得目的を知る)			4月15日			
	2	色の表示(色の分類と三属性、PCCS)			4月15日～4月22日			
	3	色彩心理(色の心理的効果、色の視覚効果)			5月6日			
	4	配色イメージ、ファッションと色彩、流行色について			5月13日			
	5	色彩調和			5月13日～5月27日			
	6	光と色(色が見えるしくみ、照明と色の見え方、混色と混色の身近な応用例)			6月3日～6月10日			
	7	検定直前対策(出題ポイントを項目[全8項目]ごとに解説)			6月17日～6月24日			
	8	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート			7月1日～7月15日			
	9	パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方			7月22日			
講師区分	非常勤	講師名	堀川彩里	関係実務経験	文部科学省後援色彩検定協会認定色彩講師			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
服飾史		1年アパレル技能科	期区分	前期	時間数 35			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	オンライン講義	なし					
科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。							
習得項目	作品製作において資料として活用する。 現代の衣服に置き換えて考える。 デザインの参考にする。							
評価方法	レポート、課題提出。 平常点 以上の平均点							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	衣服の起源			4月15日			
	2	衣服の形 素材			4月22日			
	3	古代エジプト メソポタミア			5月6日			
	4	古代ギリシャ ローマ			5月13日			
	5	ビザンチン ロマネスク			5月20日			
	6	ゴシック ルネサンス			5月27日			
	7	バロック ロココ			6月3日			
	8	フランス革命 ナポレオン レポート課題			6月10日			
	9	近代 市民革命			6月17日			
	10	世紀末			6月24日			
	11	20世紀			7月1日			
	12	アールヌーボー アール・デコ			7月8日			
	13	1930年代			7月15日			
	14	第二次世界大戦			7月22日			
講師区分	常勤	講師名 古賀	関係実務経験 雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
デザイン演習		1年アパレル技能科	期間区分	後期	時間数 52.5			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	実技・実習	なし					
科目概要	体験実習を通してデザイン、デザイナーについての基礎知識や作品製作技術を身につける。 1.素材や加工テクニックについて実習を通して理解を深め、コンセプトメイキングや各自の作品製作に生かしてデザイン力の発展をはかる。 2.デザイナー、またはパタンナーとして就業後に必要となる知識とスキルを身につける。							
習得項目	テキスタイルの表現(シルクスクリーンプリントテクニック、染色、加工技術実習)により、素材と結びついたイメージの作成に役立てて自身の作品に、より高度な完成度を求める。また、実務に即した面としてコンセプトメイキングから、企画書、仕様書の作成を身につける。							
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65%未満の場合は留年。)							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	テキスタイル実習1	シルクスクリーンプリント実習		9月5日			
		応用実習1	デザイン企画		9月12日			
		テキスタイル実習2	フリー素材加工		9月26日			
		応用実習2	デザイン企画		10月3日			
		トレンド分析	コレクション分析		10月17日			
		2 デザイン・アイテム名称	平面図(平置き製品図)		10月24日			
			テスト		10月31日			
			11月7日		11月14日			
		3 コンテスト作品	デザイン企画		11月21日			
			コレクション分析		11月28日			
			コンテストスタイル画作品 Tシャツ・プリント・デザイン・コンテスト2023		12月5日			
					12月12日			
					12月19日			
					1月16日			
					1月23日～2月27日			
講師区分	常勤	講師名	ジョノー	関係実務経験	Marani、L'sEclaireur、 2G2L Fashion Design and Consultingに			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
就職ガイダンス		1年アパレル技能科	期区分	後期	時間数 60			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	オンライン講義	株式会社アズノウアズ					
科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。							
習得項目	自己分析や企業・職種研究によって仕事への理解を深め、希望する企業や職種を定める。年々早まる採用スケジュールと足並みをそろえた就職活動を行えるよう、採用試験に関する基本的な知識を身につける。							
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	オリエンテーション(授業説明、就活の流れ、就職意識調査)			9月2日			
	2	業界研究:アパレル業界の職種、業種について			9月9日			
	3	業界研究:衣装関係の職種、仕事の流れ			9月16日			
	4	企業研究:企業情報の調べ方、求人情報の見方			9月30日			
	5	バス遠足			10月7日			
	6	ビジネスマナー(挨拶、姿勢、服装、コミュニケーションの常識)			10月14日			
	7	自己分析:マインドマップの作成			10月21日			
	8	自己分析:過去エピソードの整理			10月28日			
	9	運動会			11月4日			
	10	卒業生による仕事紹介			11月11日			
	11	ビジネスマナー(メールの送り方)、マイナビ登録			11月18日			
	12	履歴書作成(記入ルール、注意事項)			11月25日			
	13	内定者の就職体験談			12月2日			
	14	ポートフォリオ作成について、準備の仕方			12月9日			
	15	選考課題、実技試験について、準備の仕方			12月16日			
	16	WEBエントリーシート、説明会やインターンへの参加手順			12月23日			
	17	自己PR、長所の書き方			1月13日			
	18	志望動機の書き方			1月20日			
	19	企業説明会			1月27日			
	20	FS期間			2月3日～3月3日			
講師区分	常勤	講師名 久野	関係実務経験	採用、新人研修				

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
ファッショントピック		1年アパレル技能科	期区分	後期	時間数 60			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	オンライン講義	なし					
科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識							
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。							
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	アパレル素材とは 1			9月2日			
	2	アパレル素材とは 2			9月9日			
	3	繊維の分類 名称 天然繊維			9月16日			
	4	繊維の分類 名称 化学繊維			9月30日			
	5	糸について			10月7日			
	6	織物の三原組織			10月14日			
	7	基本的な柄の名前			10月21日～10月28日			
	8	秋冬の布			11月4日			
	9	編み物について レポート 素材の扱い			11月11日			
	10	裏地 芯地について			11月18日			
	11	加工について			11月25日			
	12	デニムとジーンズ			12月2日			
	13	レースについて レポート 2 リサーチ			12月9日			
	14	皮と毛皮			12月16日			
	15	不織布 フェルト			12月23日			
	16	染色 プリント			1月13日			
	17	繊維の見分け方			1月20日			
	18	新しい素材			1月27日			
	19	FS期間			2月3日～3月3日			
講師区分	常勤	講師名	古賀	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
テクニカル工芸		2年アパレル技能科	期区分	通年(前期)	時間数 32.5H			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必須	実技80%講義20%	なし					
科目概要	立体スモッキング・つまみ細工・革花・装花							
習得項目	<ul style="list-style-type: none"> ・立体スモッキング基礎/仕立て方 ・つまみ細工/丸つまみ・剣つまみ・仕立て方 ・革花/革染色/仕上げ方 ・装花・染色・こてあて・作り方 							
評価方法	項目事に習熟度、理解力、完成度の平均値で算出し評価する。 (出席率75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象。)							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	立体スモッキング・基礎			4/18~4/16			
		立体スモッキング・作品作り			4/23~4/30			
	2	つまみ細工基礎・土台作り・丸つまみ・剣つまみ			5月9日			
		つまみ細工・葉っぱ・下がり・ドーム型			5月16日			
		縫いつまみ・仕立て方			5月23日			
		つまみ細工・作品作り			5月30日			
	3	革花・染色			6月6日			
		革花・作り方			6月13日			
	4	装花・染色			6/20~27			
		装花・作り方(こてあての仕方)			7/4~7/25			
講師区分	非常勤	講師名	樋谷	関係実務経験	舞台衣装製作、衣装サンプル製作、お直しクレーム処理			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
テクニカル工芸		2年アパレル技能科	期区分	通年(後期)	時間数 52.5			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必須	実技80%講義20%	なし					
科目概要	・コレセット・帽子・編み物							
習得項目	・コレセットの作りかた/バスク、ボーンハトメ ・帽子/原型/製図の仕方/作り方/サイズリボンの付け方 ・編み物基本/かぎ針編み/鎖編み・細編み・輪の編み方・なが編み ・棒針編み/とじかた							
評価方法	項目事に習熟度、理解力、完成度の平均値で算出し評価する。 (出席率75%未満成績評価75%未満成績60点未満の場合は補習対象)							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	コレセット・デザイン・製作			9/5～9/12			
		コレセット仮縫い			9/26～10/3			
		コレセット本縫い・装飾・ハトメ			10/17～10/31			
	2	帽子原型・製図			11/7～11/14			
		制作			11/21～11/28			
		制作・飾り付け			12月5日			
	3	編み物・かぎ針編み			12/12～12/19			
		編み物・棒針編み			1月16日			
		作品作り			1/23～1/30			
講師区分	非常勤	講師名	樋谷	関係実務経験	舞台衣装製作、衣装サンプル製作、お直しクレーム処理			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間							
職業実践講座/工業ミシン		2年アパレル技能科	期区分	前期	時間数	32.5H				
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)							
	必修	講義50% 実技50%	株式会社SHINDO							
科目概要	服飾繊維資材を扱っている会社のショールームを見学し、市場リサーチをする。 工業ミシンを用いて各種部分縫いを製作し、就職後に必要な知識とスキルを身につける。									
習得項目	ショールームの見学や市場リサーチを通して、今後の作品製作に活かせる思考力を高める。 工業用ミシンの扱い方を習得する。 部分縫いを通し、縫製知識を習得する。									
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題評価(レポート、縫製技術、期限) ・授業態度 ・出席率 		時期に関して企業側と日程調整中の為、 変更の可能性があります。							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)					
	1	工業ミシンの説明、各種部分縫い製作(スラッシュあき、持ち出し見返しあき)			4月18日					
	2	各種部分縫い製作(バイヤス丸・角、裏無しスリットあき)			4月25日					
	3	各種部分縫い製作(バイヤス丸・角、裏無しスリットあき)			5月9日					
	4	各種部分縫い製作(裏無しベンツ、裏付きベンツ)			5月16日					
	5	各種部分縫い製作(ピンタック)			5月23日					
	6	各種部分縫い製作(パッチ中縫いポケット)			5月30日					
	7	各種部分縫い製作(比翼仕立て)			6月6日					
	8	各種部分縫い製作(短冊あき、前立てあき)			6月13日					
	9	各種部分縫い製作(玉縁ホール)			6月20日					
	10	服飾繊維資材の説明、市場リサーチ			6月27日					
	11	(株)SHINDOショールーム見学			7月4日					
	12	レポート製作			7月11日					
	13	前期修了ショー 1年生リハーサル			7月25日					
講師区分	常勤	講師名	柳澤 ・ 上野	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナー/アシスタント、 生産管理、お直し等を経験					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間				
職業実践講座/工業ミシン		2年アパレル技能科		期区分	後期	時間数 52.5H		
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)				
	必修	講義50% 実技50%		有限会社b.c.costume./株式会社ベネフィット				
科目概要	衣装企画としてバレエ・オペラ等の衣装製作リース会社の太田社長から、実際に使われている衣装のデザイン設定や衣装の製作過程などの講義を受ける。 またバレエ衣装のデザイン企画、発表をする。 服飾の企画・製造・販売を行なっている企業と連携し、カットソーについての知識とスキルを身につける。							
習得項目	衣装会社の仕事内容を理解し、就職した際の心構えを身につける。 デザイン企画を通してプレゼンテーション能力を高める。 カットソーのパターン操作や縫製の基本を習得する。							
評価方法	・課題評価(デザイン企画) ・授業態度 ・出席率		時期に関して企業側と日程調整中の為、変更の可能性があります。					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)			
	1	バレエ衣装についての講義			9月5日			
	2	バレエ衣装についての講義			9月12日			
	3	デザイン企画(グループ製作)			9月26日			
	4	デザイン企画(個人製作)			10月3日			
	5	デザイン企画(個人製作)			10月17日			
	6	デザイン企画(個人製作)			10月24日			
	7	デザイン企画・まとめ作業			10月31日			
	8	プレゼン練習			11月7日			
	9	プレゼン練習(修正作業)			11月14日			
	10	プレゼン			11月21日			
	11	プレゼン			11月28日			
	12	カットソー縫製方法についての講義			12月5日			
	13	カットソー作品製作			12月12日			
	14	カットソー作品製作			12月19日			
	15	カットソー作品製作			1月16日			
	16	カットソー作品製作			1月23日			
	17	カットソー作品製作			1月30日			
	18	ショー週間①			2月6日			
	19	ショー週間②			2月13日			
	20	ファッショショー撤収作業			2月20日			
	21	補習期間			2月27日			
講師区分	常勤	講師名	柳澤 ・ 上野	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーインストラクター、生産管理、お直し等を経験			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間									
衣装製作実習		2年アパレル技能科		期区分	前期・後期 I	時間数	237.5H						
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)									
	必修	実技80%、講義20%		なし									
科目概要	衣装製作者、衣装デザイナーとしてのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む												
習得項目	薄物部分縫い、薄物素材の扱い方 ヘッドレス2型 薄物素材による衣装製作												
評価方法	平常点30%、提出物70%、作品製作、課題提出												
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)							
	1	薄物部分縫い袋縫い				4月13日							
	2	薄物部分縫い袖口あき				4月19日							
	3	ヘッドレスデザイン出し、製作2点				4月19日							
	4	ヘッドレス2点 提出日				4月27日							
	5	衣装デザイン出し				5月10日							
	6	トワル組み				5月11日							
	7	トワルチェック				5月31日							
	8	パターン仕上げる、縫製スタート				6月1日							
	9	衣装提出日、アイドル衣装デザイン出し				7月19日							
	10	前期修了ショー				7月27日							
	1	アイドル衣装のデザイン出し				9月6日							
	2	パターン製作				9/6~9/14							
	3	トワルチェック、パターン仕上げる				9/20~9/28							
	4	縫製、提出				10/4~10/25							
	5	撮影				10月25日							
	6	卒制研究(素材、ディテール)				11/1~11/2							
	7	パターン製作トワル組み				11/8~11/23							
	8	トワルチェック				11/29~							
講師区分	常勤	講師名	鷺典子	関係実務経験	コレクションブランドのデザイナー、 舞台衣装のデザイナー経験あり								

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間					
就職キャリアデザイン		2年アパレル技能科	期間区分	前期	時間数			
選択区分	履修区分	年	企業連携(連携企業)					
必須	必修	講義(オンライン)80 演習(対面)20	株式会社エス・グルーヴ、他					
科目概要	自己理解と自己分析を進め、自己効力感を高めていく。人生百年時代を迎える変化の激しい時代に対して、より良い進路を選択し、就職及びキャリア形成のために必要な知識とマナーを習得する。							
習得項目	自己理解に時間をかける。就職活動の際に必要となる、書類作成の手順や面接マナーを学び、志望企業の内定獲得を目指す。面接対策では学生同士で模擬面接を行わない、一般的な面接の流れを理解する。また、国際社会や業界への理解を深めることで、就職後のキャリア形成に役立つ知識を身につける。							
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「模擬面接」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。							
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			実施予定日			
	1	自己理解・自己分析の進め方、適性テストも交えて自分自身の理解と自己効力感を高める作業を行う。			4月13日			
	2	効果的な自己PRの作成の仕方、自己PR文の作成演習			4月20日			
	3	応募書類作成(各項目の記述解説)			4月27日			
	4	応募、エントリー情報の調べ方、求人票のチェックポイント			5月11日			
	5	企業説明会(株式会社エス・グルーヴ、他)			5月18日			
	6	web面接練習(1分自己紹介)			5月25日			
		学校行事			6月1日			
	7	面接解説(よくある出題と対策)			6月8日			
	8	web面接対策(一般的なweb面接ツールの解説、マナー指導)			6月15日			
	9	模擬面接【対面+オンライン】			6月22日			
	10	模擬面接【対面+オンライン】			6月29日			
	11	今後の世界情勢、国内情勢からキャリアの組み立てを考える			7月6日			
	12	業界研究、企業研究の進め方			7月13日			
	13	今後の就職活動、転職、キャリアアップについて(課題発表)			7月20日			
		学校行事			7月27日			
担当教員								
講師区分	名	講師略歴			企業・当該 実務経験者			
常勤	副田 勝久	都内百貨店に勤務し、アパレル販売、バイヤー、催事担当、社員教育等の実務経験を有する。			○			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間							
服飾製図		2年アパレル技能科	期区分	通年	時間数	185				
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)							
	必修	実技80% 講義20%	無し							
科目概要	様々なデザインを衣服として作成出来るようになる為に必要な製図力 制作構成 素材の適応性を学ぶ。また、軽衣料 中衣料、重衣料の製図を順番に学ぶ事で理解を深め 応用力をつける。									
習得項目	製図 パターン作成 スカートの縫製方法 素材知識									
評価方法	1課題評価(スカートシーチング製作) 2筆記試験(ダーツ展開方法・タイトスリーブ) 3授業態度(出席率・集中度・授業参加度)									
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)				
	1	原型の作り方				4月14日				
	2	補正講義				4月21日				
	3	スカートの製図(ヨーク プリーツ アコーディオン 等)				4月21日～5月12日				
	4	スカート作成(シーチング)				5月12日～5月26日				
	5	ブラウス 袖の製図				5月26日				
	6	ワンピースの製図				6月2日				
	7	コートの製図				6月9日～7月7日				
	8	前期ペーパーテスト				7月7日				
	9	ジャケットの製図				7月14日～7月21日				
	10	テーラーカラージャケットの製図				9月1日～9月15日				
	11	テーラーカラージャケット仮縫い・工業用パターン作成				9月22日～10月6日				
	12	テーラーカラージャケット作成				10月13日～11月24日				
	13	ジャケット作成				12月1日～3月2日				
	14	後期ペーパーテスト				1月19日				
講師区分	常勤	講師名	山下	関係実務経験	注文服製作					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間									
卒業制作ファッションショー制作実習		2年.3年アパレル技能科.造形科		期区分	前期	時間数	35H						
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)									
	必修	実技80%・講義20%		なし									
科目概要	ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリーを考える。衣装デザインを準備する。												
習得項目	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。												
評価方法	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力での評価												
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)							
	1	リーダー決定・全体テーマ出し				4月15日							
	2	仮決定・プレゼンテーションを準備する。理事長にプレゼンテーションをする。				4/22～5/20							
	3	カテゴリー案出し。仮決定。				5/27～6/10							
	4	担当分け。プレゼンテーションを準備。理事長にプレゼンテーションをする。				6/17～6/24							
	5	カテゴリーごとに分かれて打ち合わせをする。				7/1～7/15							
	6	ラフな卒制デザイン画提出				7月22日							
講師区分	常勤	講師名	鷲.花澤. 内山. ジヨノー	関係実務経験	コレクションブランドのデザイナー、 舞台衣装のデザイナー経験あり								

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間									
生産技術実習		2年アパレル技能科		期区分	通年	時間数	95H						
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)									
	必須	実技70%講義30%		無し									
科目概要	服が出来上がるまでの工程を理解するための、デザイン、パターン、縫製までを行い、その工程の中で必要な縫製仕様書、原価計算を行い、上代設定までの流れを習得する。												
習得項目	1工業パターン製作、縫製技術 2縫製仕様 3原価計算→上代設定												
評価方法	1課題評価（課題期限・理解度・技術面・デザイン面） 2筆記試験 3授業態度(出席率・集中度)												
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)							
	シャツ												
	1	デザイン				4/15							
	2	工業パターン				4/22～5/20							
	3	マイキング				5/27							
	4	縫製仕様書				6/3							
	5	縫製				6/10～7/8							
	6	検品				7/15							
	7	原価計算、下代・上代設定				7/22							
	ジーンズ												
	1	デザイン				9/2							
	2	工業パターン				9/9～10/7							
	3	マーキング				10/14							
	4	縫製仕様書				10/21							
	5	原価計算、下代・上代				10/28							
	6	縫製				11/4～11/25							
	1	縫製				12/2～12/16							
	2	検品				12/23							
	3	附属説明				1/13～1/27							
講師区分	常勤	講師名	中島	関係実務経験	アパレル企業にてパタンナーとして勤務								

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間							
選択区分	PCワーク	2年アパレル技能科	期区分	後期	時間数	60H				
	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)							
科目概要	必修	実技90%、講義10%	なし							
習得項目	Windows/パソコンの操作方法と、ビジネスソフト(Word・Excel・Powerpoint)の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使った文章作成技術を習得。 Excelを使って表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使ってプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。									
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。									
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)				
	1	Windows/パソコンの基本操作・タイピングの基本				9月7日				
	2	Wordを使ったビジネス文章作成・商品クレジットの入力				9月14日				
	3	Wordを使った画像・表入り文章の作成				9月21日				
	4	Wordを使ったプレスリリースの作成・PDFデータへの変換				9月28日				
	5	Excelを使った表の作成(罫線の引き方・セルの色塗り)				10月5日				
	6	Excelを使った四則計算を含んだ請求書の作成				10月12日				
	7	Excelを使った関数を含んだ表の作成(SUM・AVERAGE等)				10月19日				
	8	Excelを使ったグラフの作成(円・棒グラフ)				10月26日				
	9	Excelを使ったグラフの作成(折れ線グラフ・行と列の入れ替え)				11月2日				
	10	Excelを使ったグラフを含めたレポート文書の作成				11月9日				
	11	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(課題発表・基本)				11月16日				
	12	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(アニメーション)				11月30日				
	13	Powerpointデータの作成(発表者ツールの使い方)				12月7日				
	14	Powerpointの発表				12月14日				
	15	Powerpointの発表				12月21日				
	16	Word・Excelの復習(総ざらい)				1月11日				
	17	Word・Excelのテスト				1月18日				
	18	ビジネスメールの作成・送受信(添付ファイルの容量)				1月25日				
	19	Wordを使ったファッションショーの招待状＋添え状の作成				2月1日				
	20	ショー準備期間				2月8日				
	21	ショー準備期間				2月15日				
	22	ショー振替休日				2月22日				
	23	補習期間				3月1日				
講師区分	常勤	講師名	鶴本望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や 入社研修でのIT技術指導の経験					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間							
卒業製作実習		2年アパレル技能科	期区分	後期II	時間数	105H				
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)							
	必修	実技80%、講義20%	なし							
科目概要	卒業制作ファッショニショ一衣装制作 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む デザイン画に忠実な表現 素材、ディテール研究									
習得項目	卒業制作ファッショニショ一衣装制作									
評価方法	平常点30%、提出物70%、作品製作、課題提出									
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)					
	1	卒業制作ファッショニショ一衣装制作トフルチェック			~12/7					
	2	卒業制作ファッショニショ一衣装制作縫製スタート			12月7日					
	3	作品提出			2/6~2/7					
	4	卒業制作ファッショニショ一本番期間			2/17~2/19					
講師区分	常勤	講師名	鷺	関係実務経験	コレクションブランドのデザイナー、 舞台衣装のデザイナー経験あり					